# Effects of yogurt containing Lactobacillus gasseri OLL2716 on autonomic nerve activities and Physiological functions


| メタデータ | 言語: English |
| --- | --- |
| | 出版者: |
| | 公開日: 2015-03-20 |
| | キーワード (Ja): |
| | キーワード (En): |
| | 作成者: 大富, 凱豪 |
| | メールアドレス: |
| | 所属: |
| URL | https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001661 |

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 1564 号

Effects of yogurt containing *Lactobacillus gasseri* OLL2716 (LG21) on autonomic nerve activities and Physiological functions

(ガセリ菌ヨーグルトの自律神経活動と生理機能への作用)

大富　凱豪（おおとみ　かいほう）

博士（医学）

論文内容の要旨

ヨーグルトの摂取により腸内環境が改善し、善玉菌の働きが活発になると副交感神経機能が上昇すると考えられている。

今回、我々はガセリ菌含有のヨーグルトの自律神経活動、皮膚血流量、皮膚状態に対する効果について検討した。

対象は、本研究の趣旨に同意を得られた健常成人女性 15 名を、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルト摂取群 10 名（31.8±1.6 歳）、対照としてビフィズス菌配合ヨーグルト群 5 名（27.6±0.9 歳）にそれぞれ分けた。それぞれ 100g を 1 日 2 個 4 週間摂取し、摂取前と摂取後の自律神経活動、皮膚血流量、唾液の s-IgA 量、皮膚状態およびアンケートにより比較した。

自律神経機能に対する作用では、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルト群に副交感神経の上昇がみられたが有意な上昇ではなかった。皮膚血流量に対する作用では、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルト群において摂取後に有意に血流量の増加を認めた。唾液成分に対する作用では、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルト、ビフィズス菌配合ヨーグルトのすべての群において有意に s-IgA 量の増加が認められた。また、皮膚に対する作用では、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルトに皮膚水分量の有意な増加を認めた。色素沈着に対する作用ではガセリ菌（LG21）配合ヨーグルトおよびビフィズス菌配合ヨーグルトに有意な減少を認めた。QOL アンケートの結果では、ガセリ菌（LG21）配合ヨーグルトにトイレ時の残便感、下腹が張る、手足の冷え感、吹き出物や肌荒れについて摂取経過に伴い改善効果がみられた。

これらの結果から、ガセリ菌含有ヨーグルト群の皮膚血流量、s-IgA 量の増加、皮膚状態の改善は腸内環境の改善による副交感神経活動の上昇による効果であることが示唆された。